



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ホシデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室担当 (氏名) 本保 信二

TEL 072-993-1010

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	165,794	16.7	9,832	5.6	10,053	10.6	8,024	6.4
2019年3月期第3四半期	199,121	15.0	9,308	12.5	11,240	1.4	8,572	13.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,169百万円 (13.0%) 2019年3月期第3四半期 7,232百万円 (33.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	137.27	127.95
2019年3月期第3四半期	144.17	134.69

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	150,922	100,758	66.8
2019年3月期	133,470	94,113	70.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 100,758百万円 2019年3月期 94,113百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		15.00	25.00
2020年3月期		10.00			
2020年3月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当5円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	8.8	11,000	4.0	11,000	17.6	8,500	20.6	145.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル111円を前提としております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	67,710,084 株	2019年3月期	67,710,084 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,252,818 株	2019年3月期	9,252,057 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	58,457,591 株	2019年3月期3Q	59,458,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 予想数値の修正に関する事項は、本日(2020年2月7日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- (2) 本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
3. 補足情報 .....	8
セグメント別販売実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月～2019年12月)の世界経済は、米国では良好な雇用環境が継続しておりますが、製造業の景況感は低下しております。また、米中貿易摩擦は一旦落ち着いたものの、イランとの地政学リスクが大きくなり、不透明感も漂っております。欧州においては、英国の「合意なき離脱」が一旦回避されたものの、景気の回復は緩やかなものとなっております。中国では米中貿易摩擦の影響を受け、個人消費が減速し、自動車販売は前年割れとなっております。さらには香港での人権問題もあり、先行きの不透明感が大きくなっております。日本経済につきましては、雇用環境は良好なものの、輸出は減少を続け、景気の回復は緩やかなものとなっております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連向けは電子化を背景に搭載点数は増加しているものの、中国を中心として世界的に車の販売台数が減少しており、低調な推移となっております。スマートフォン市場向けについては、需要が一巡し低迷しておりましたが、5G関連での今後の伸びが期待されます。

このような状況の下で、当社グループでは、アミューズメント関連向けに加え、上記市場の影響を受けた自動車関連向けや移動体通信関連向けも減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は165,794百万円(前年同期比16.7%減)、営業利益は9,832百万円(前年同期比5.6%増)、経常利益は10,053百万円(前年同期比10.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,024百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの売上高の状況は次のとおりであります。

機構部品につきましては、アミューズメント関連向け、移動体通信関連向けが減少したことにより、141,490百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

音響部品につきましては、自動車関連向け、移動体通信関連向けが減少したことにより、11,835百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが減少したことにより、6,415百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが増加したことにより、6,052百万円(前年同期比29.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券が減少したものの、売上債権、たな卸資産の増加等により前連結会計年度末比17,451百万円増の150,922百万円となりました。又、負債につきましては、仕入債務の増加等により前連結会計年度末比10,807百万円増の50,164百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比6,644百万円増の100,758百万円となり、自己資本比率は66.8%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比14,762百万円減の53,298百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、9,644百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益10,254百万円、売上債権の増加15,509百万円、たな卸資産の増加14,053百万円、仕入債務の増加11,762百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、3,182百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,428百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、1,599百万円となりました。これは主に、配当金の支払1,461百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今回の業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル111円を前提としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,863	48,584
受取手形及び売掛金	21,687	36,832
有価証券	16,300	6,000
商品及び製品	7,544	9,077
仕掛品	1,558	4,971
原材料及び貯蔵品	8,285	16,936
その他	3,637	5,032
貸倒引当金	△25	△26
流動資産合計	112,851	127,408
固定資産		
有形固定資産	14,260	16,677
無形固定資産	367	382
投資その他の資産		
投資有価証券	4,390	4,791
その他	2,010	1,953
貸倒引当金	△410	△290
投資その他の資産合計	5,991	6,454
固定資産合計	20,619	23,513
資産合計	133,470	150,922

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,168	25,111
短期借入金	2,768	2,513
未払法人税等	1,837	1,371
その他	4,271	4,182
流動負債合計	23,046	33,178
固定負債		
新株予約権付社債	10,116	10,099
退職給付に係る負債	4,332	4,322
その他	1,862	2,562
固定負債合計	16,310	16,985
負債合計	39,357	50,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,596
利益剰余金	69,881	76,382
自己株式	△8,660	△8,661
株主資本合計	94,477	100,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,950	2,454
為替換算調整勘定	△2,548	△2,860
退職給付に係る調整累計額	232	185
その他の包括利益累計額合計	△364	△220
純資産合計	94,113	100,758
負債純資産合計	133,470	150,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	199,121	165,794
売上原価	181,731	148,591
売上総利益	17,390	17,203
販売費及び一般管理費	8,082	7,370
営業利益	9,308	9,832
営業外収益		
受取利息	119	145
受取配当金	92	96
為替差益	1,731	58
その他	95	80
営業外収益合計	2,039	380
営業外費用		
支払利息	94	89
その他	12	69
営業外費用合計	107	159
経常利益	11,240	10,053
特別利益		
固定資産売却益	5	15
投資有価証券売却益	—	313
子会社清算益	240	—
その他	4	15
特別利益合計	249	345
特別損失		
固定資産除売却損	2	129
その他	—	15
特別損失合計	2	144
税金等調整前四半期純利益	11,487	10,254
法人税、住民税及び事業税	1,802	1,930
法人税等調整額	1,113	299
法人税等合計	2,915	2,229
四半期純利益	8,572	8,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,572	8,024

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	8,572	8,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△648	503
為替換算調整勘定	△632	△312
退職給付に係る調整額	△58	△46
その他の包括利益合計	△1,339	144
四半期包括利益	7,232	8,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,232	8,169
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,487	10,254
減価償却費	2,336	2,289
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,218	△15,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,580	△14,053
営業未収入金の増減額 (△は増加)	203	△39
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,966	11,762
その他	687	△1,827
小計	13,110	△7,123
利息及び配当金の受取額	186	223
利息の支払額	△96	△90
法人税等の支払額	△1,928	△2,873
法人税等の還付額	34	219
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,307	△9,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,065	472
有形固定資産の取得による支出	△2,978	△4,428
投資有価証券の売却による収入	—	621
その他	△2	152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,046	△3,182
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,253	△26
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,486	△1,461
その他	△8	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,748	△1,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△336
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,380	△14,762
現金及び現金同等物の期首残高	52,405	68,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,786	53,298

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」(2016年1月公表)を適用しております。これにより、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の有形固定資産が259百万円増加、流動負債のその他が80百万円増加、固定負債のその他が241百万円増加、利益剰余金が62百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びキャッシュ・フローに与える影響は軽微であります。

3. 補足情報

セグメント別販売実績

	当第3四半期連結累計期間	
	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	
セグメントの名称	金額 (百万円)	構成比
機構部品	141,490	85.3%
音響部品	11,835	7.1%
表示部品	6,415	3.9%
複合部品その他	6,052	3.7%
合計	165,794	100.0%